

2018年3月期 第2四半期決算説明会

1. 第2四半期決算の概要(連結)
2. 通期の業績見通し
3. 当社の経営戦略

2017年11月9日

日本光電工業株式会社

証券コード : 6849

<http://www.nihonkohden.co.jp>

Fighting Disease with Electronics



1 第2四半期決算の概要（連結）

1) 当第2四半期の決算概要

(単位: 百万円、単位未満切捨て)

	前第2四半期 累計 (2016/9)	当第2四半期 累計(2017/9)		
		期初予想	実績	対前年同期 増減率(%)
売上高	74,463	78,000	76,648	2.9
国内売上高	55,876	—	56,241	0.7
海外売上高	18,586	—	20,407	9.8
営業利益	3,834	3,900	3,128	△ 18.4
経常利益	2,689	3,900	3,722	38.4
親会社株主に帰属する 四半期純利益	1,683	2,500	2,541	51.0

為替影響除く: +7%

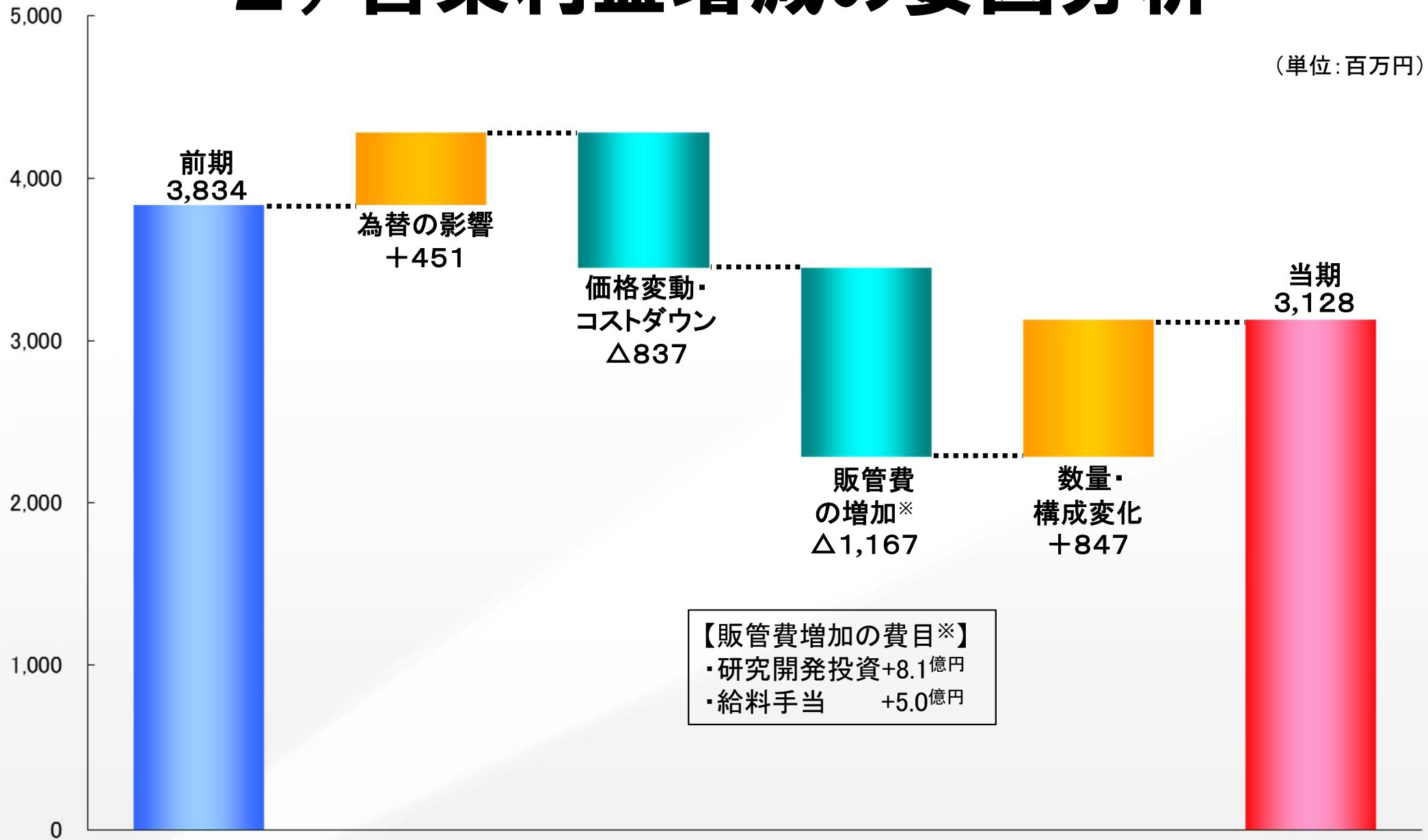
2016/9 2017/9
粗利率: 48.1% → 47.6%
販管費率: 43.0% → 43.5%

2016/9 2017/9
為替差損 為替差益
1,510百万円 → 257百万円

平均レート	(2016/9)	(2017/9)
1ドル	107.6円	111.3円
1ユーロ	119.9円	126.1円

2) 営業利益増減の要因分析

(単位: 百万円)

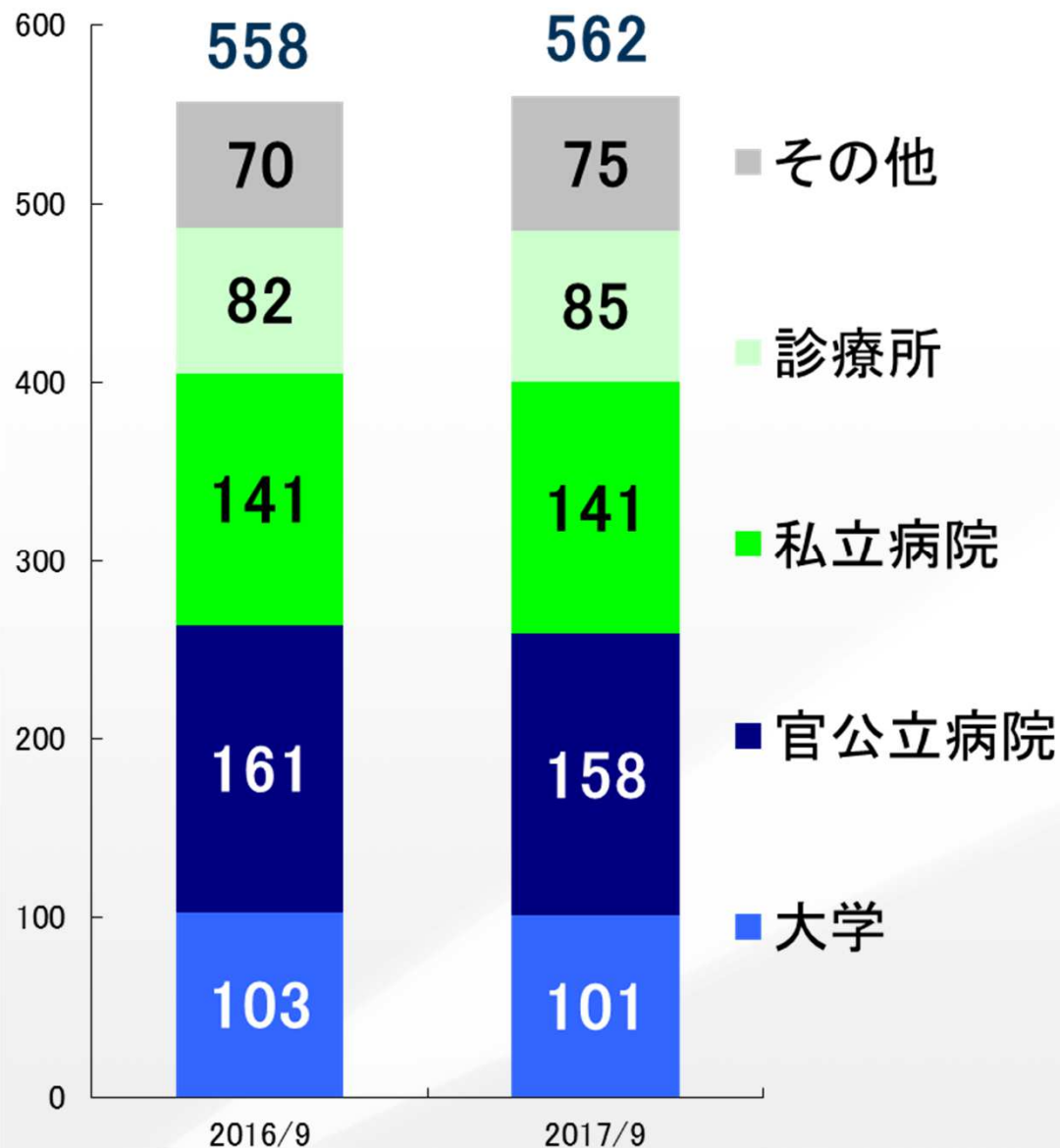


※「販管費の増加」は為替の影響を除いた営業利益増減要因としての金額、
「販管費増加の費目」は円建ての販売費及び一般管理費のうち主な増加金額を表しています。

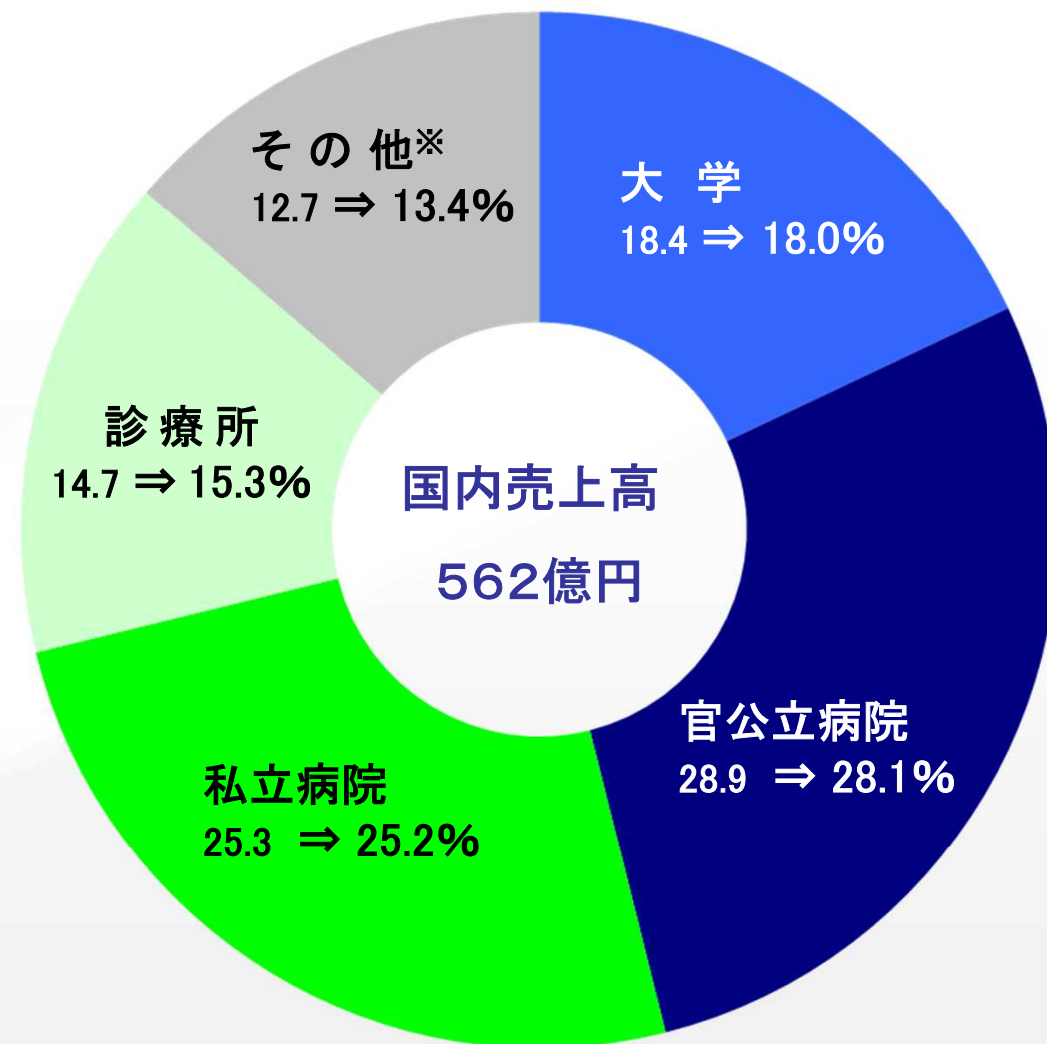
3) 国内売上高

【市場別売上高】

(億円)



市場別売上構成比
(2016/9⇒2017/9)



※その他には、研究所、動物病院、消防など行政機関のほか、
AED納入先である学校や民間企業を含みます。

4) 海外売上高

【地域別売上高】

【海外売上高】

前期比+10%

(為替影響除く: +7%)

■ その他

前期比△28%

(為替影響除く: △30%)

■ アジア州

前期比△1%

(為替影響除く: △3%)

■ 欧州

前期比+19%

(為替影響除く: +15%)

■ 米州

前期比+20%

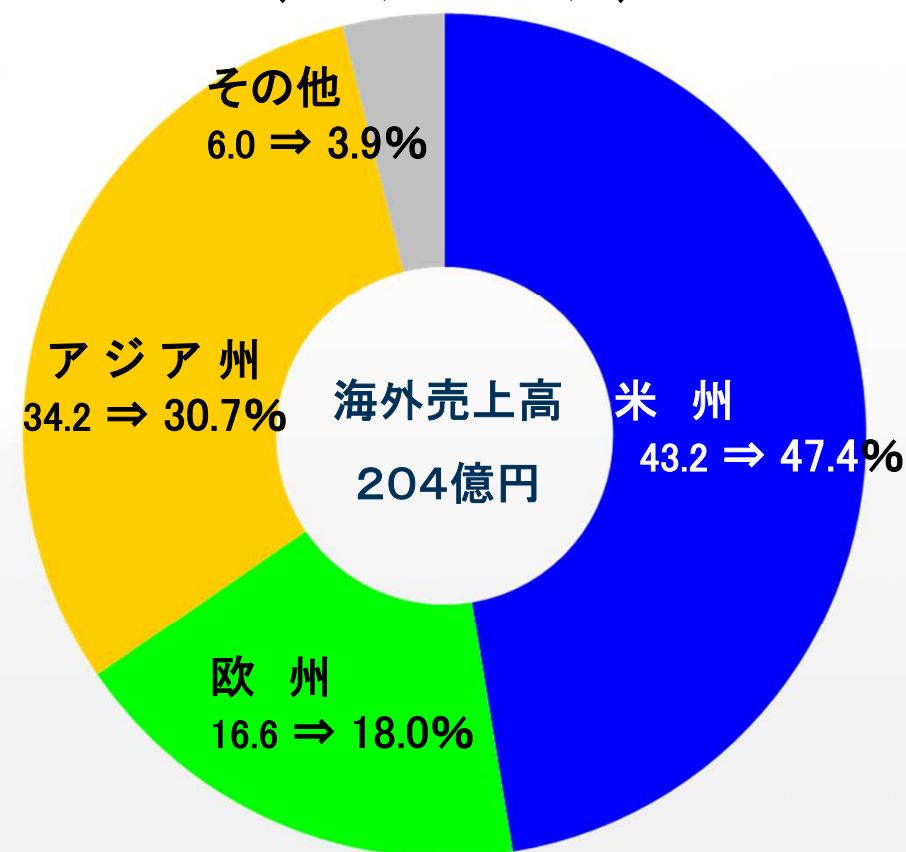
(為替影響除く: +16%)

海外売上高比率

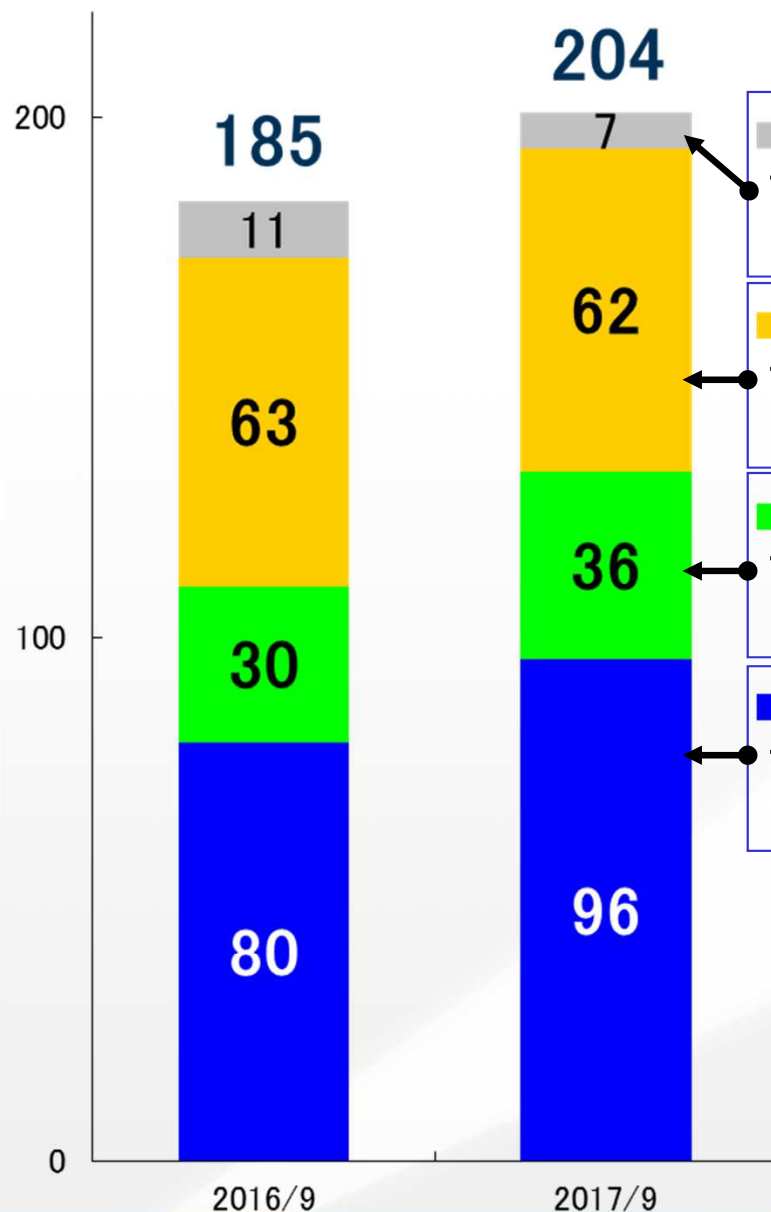
2016/9	2017/9
25.0%	26.6%

地域別構成比

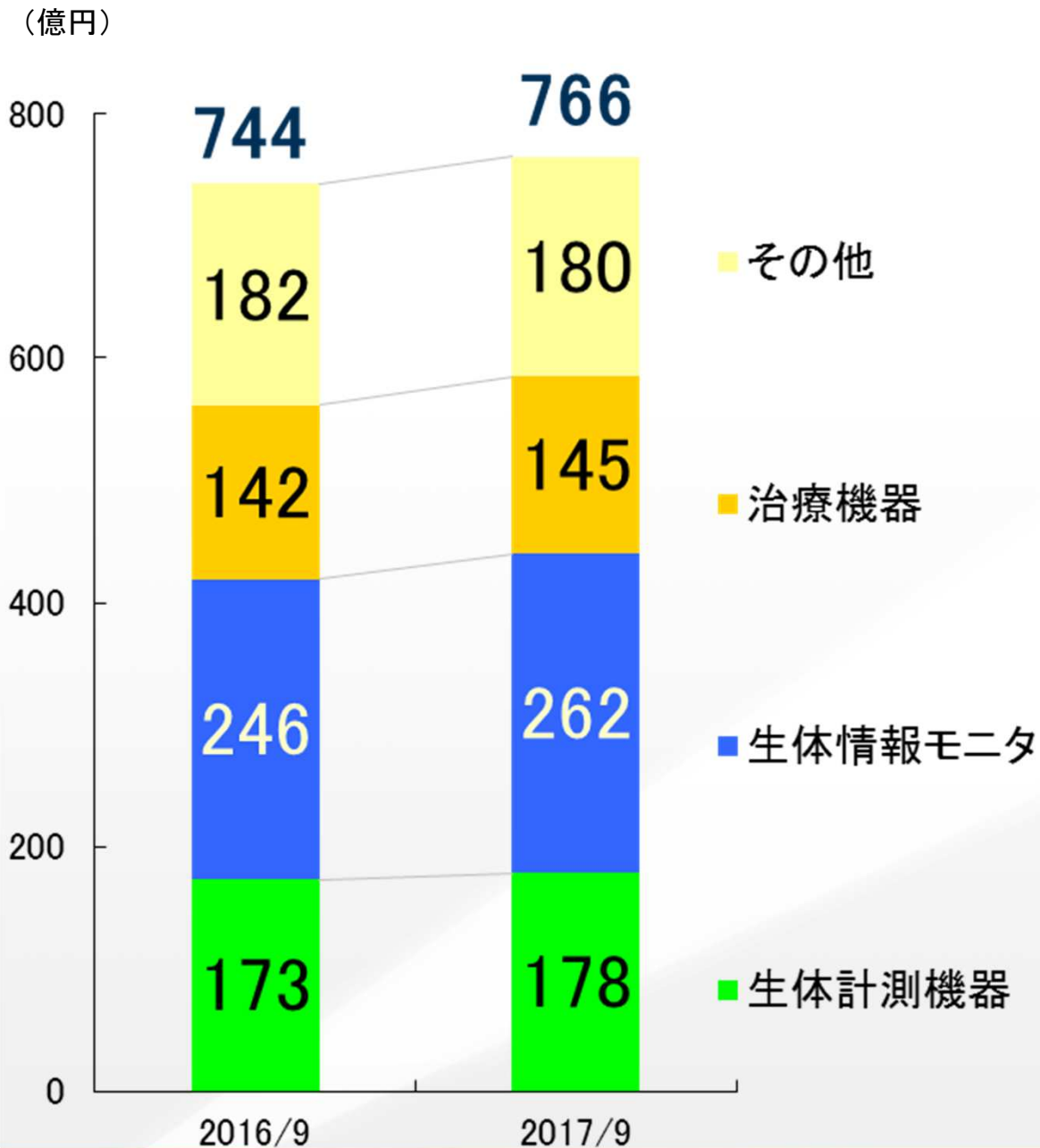
(2016/9⇒2017/9)



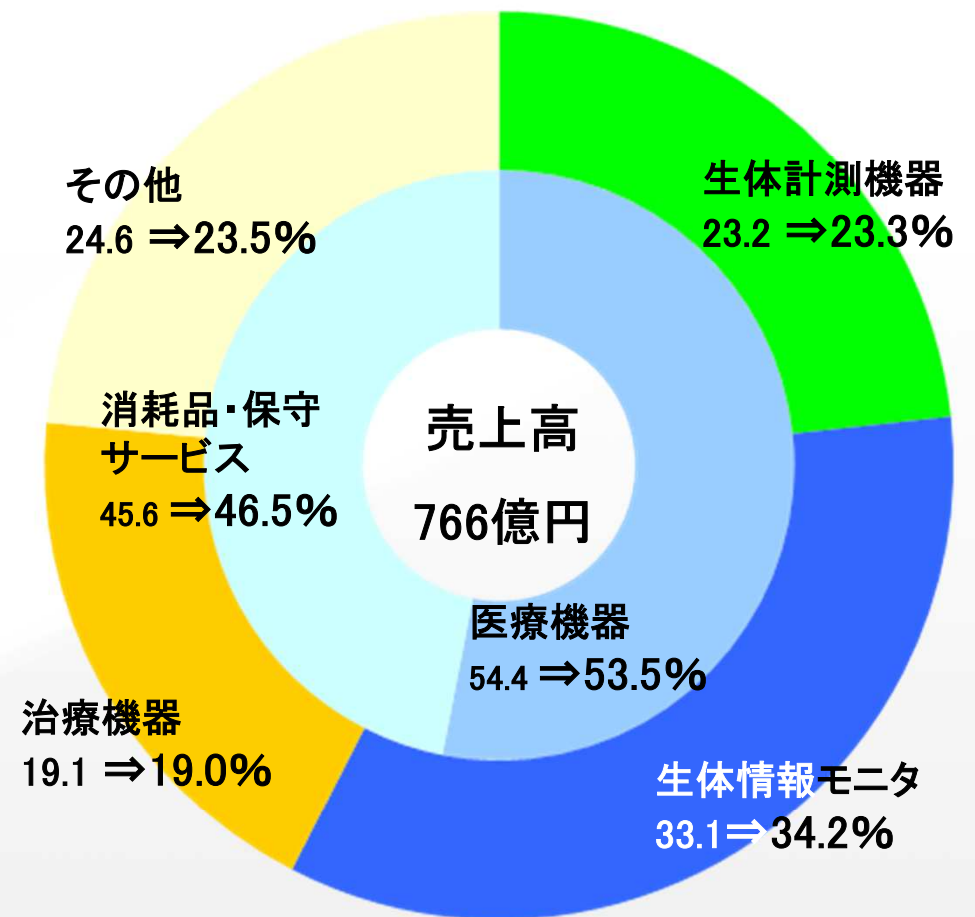
(億円)



5) 商品群別売上高



商品群別売上構成比
(2016/9⇒2017/9)



5.1) 生体計測機器

	前第2四半期 累計(2016/9)	当第2四半期 累計(2017/9)	増減率(%)
脳 神 経 系 群	3,335	3,315	△ 0.6
心 電 計 群	3,145	3,077	△ 2.1
心臓カテーテル検査装置群	6,101	6,552	7.4
その他(診断情報システム等)※	4,719	4,888	3.6
生 体 計 測 機 器 合 計	17,302	17,833	3.1
う ち 国 内 売 上 高	13,536	14,264	5.4
う ち 海 外 売 上 高	3,765	3,568	△ 5.2

(単位:百万円)

脳神経系群は前期を下回るも、
心電計群、心臓カテーテル検査装置群、
診断情報システムが好調に推移

脳神経系群は堅調に推移するも、
心電計群が前期を下回る

※その他には、診断情報システムや他社製の生体計測機器を含みます。



筋電図・誘発電位
検査装置 MEB-9400



心電計 ECG-2450



臨床用ポリグラフ RMC-5000



医療介護ネットワーク
システム LAV-1000

5.2) 生体情報モニタ

(単位: 百万円)

	前第2四半期 累計(2016/9)	当第2四半期 累計(2017/9)	増減率(%)
生体情報モニタ合計	24,667	26,248	6.4
うち国内売上高	16,079	16,148	0.4
うち海外売上高	8,588	10,100	17.6

送信機、ベッドサイドモニタは前期を下回るも、臨床情報システム、センサ等の消耗品が増収

米州、欧州での売上が大幅に伸長。アジア州も堅調に推移



ベッドサイドモニタ
CSM-1901



バイタルサインテレメータ
GZ-140P



NEW!



送信機
ZS-640P

NEW!



SpO₂
プローブ



cap-ONE
バイトブロック



心電図
電極

消耗品関連

※日本光電独自の血圧測定アルゴリズム。血圧カフを締め付けすぎず、短時間で測定。

5.3) 治療機器

	前第2四半期 累計(2016/9)	当第2四半期 累計(2017/9)	増減率(%)
医科向け除細動器	2,197	2,572	17.0
A E D	6,484	6,694	3.2
ペースメーカー・ICD	1,541	1,593	3.4
人工呼吸器	958	934	△ 2.6
その他	3,051	2,752	△ 9.8
治療機器合計	14,233	14,546	2.2
うち国内売上高	10,275	10,143	△ 1.3
うち海外売上高	3,958	4,402	11.2
(参考)AED販売台数	41,200	38,900	△ 5.6
うち国内販売台数	21,800	20,000	△ 8.3

(単位:百万円)

← 国内・海外ともに好調に推移

← 国内・海外ともに販売台数は前期を下回るも、パッド、バッテリーなど消耗品が堅調に推移

← 【国内】ウォーミングシステムの仕入先の変更の影響もあり減収



除細動器
TEC-5600シリーズ



AED
AED-3100



心臓ペースメーカー
Zenex MRI



人工呼吸器
HAMILTON-C1



エアウェイスコープ
AWS-S200

10月2日
HOYAサービス
から事業譲受

5.4) その他

(単位: 百万円)

	前第2四半期 累計(2016/9)	当第2四半期 累計(2017/9)	増減率(%)
検体検査装置	5,277	5,033	△ 4.6
画像診断装置、 研究用機器他※	12,981	12,986	0.0
その他合計	18,258	18,019	△ 1.3
うち国内売上高	15,985	15,684	△ 1.9
うち海外売上高	2,273	2,335	2.7

← 検体検査装置が前期を下回る

← 検体検査装置は前期を下回るも、サービス、現地仕入品が増収

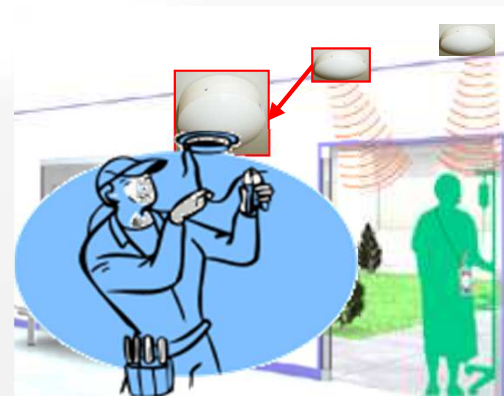
※他の商品群に分類されない、消耗品や設置工事・保守サービスを含みます。



全自動血球計数器
MEK-9100



臨床化学分析装置
CHM-4100



設置工事・保守サービス

6) 財政状態

(単位: 百万円)

	前期末 2017/3	当第2四半期末 2017/9	増減額
流動資産	119,235	111,879	△ 7,355
固定資産	33,571	32,410	△ 1,160
資産合計	152,806	144,290	△ 8,516
流動負債	45,006	35,468	△ 9,537
固定負債	3,913	4,059	146
負債合計	48,919	39,527	△ 9,391
純資産	103,887	104,762	875
負債・純資産合計	152,806	144,290	△ 8,516

7) 設備投資と研究開発費

(単位:百万円)

	前第2四半期 累計(2016/9)	当第2四半期 累計(2017/9)	2017/3 前期実績	2018/3予想	
				期初	11月6日修正
設備投資額	4,758	1,003	7,710	5,700	5,200
減価償却費	1,548	1,571	3,422	3,900	3,600
研究開発費	2,958	3,772	6,466	7,300	7,300

●設備投資の上期実績

新製品の「型」、計測器・治具、販促用製品

●2018/3期計画における主な案件

新製品の「型」、計測器・治具、販促用製品、工場生産設備、本社(西落合事業所)改修工事8億円

2

通期の業績見通し

1) 経営環境

国内

2025年医療・介護の将来像

- ・医療の機能分化・強化と連携
- ・地域包括ケアシステムの推進

2017年3月 全ての都道府県が地域医療構想を策定

- ・都道府県は地域医療構想調整会議を開催、各医療機関の役割分担等を議論
- ・地域医療介護総合確保基金の活用

2018年度医療・介護の同時改定に向けた議論が本格化

- ・病院は、地域医療構想に沿って病床再編を具体化
- ・在宅医療の担い手である診療所は堅調に推移

海外

米国

- ・医療保険制度の動向
- ・医療の質と効率性の向上
- ・IDN※の拡大

欧州

- ・緩やかな景気回復、英国のEU離脱

新興国

一部地域で政情不安あるも、
経済発展に伴う医療インフラ整備

医療機器の需要は底堅く推移

※ IDN: Integrated Delivery Network 総合医療ネットワーク

2) 下期の取り組み

国内事業

市場別営業の推進

大学、官公立
病院市場

臨床情報システムの機能強化
による手術室・ICU商談の確実
な獲得

私立病院、
診療所市場

診療所市場向け新商品を投入、
ソリューション提案を強化

海外事業

米国

大口モニタ商談対応のため、
本社支援体制を強化

新興国

東南アジア・中近東

販売代理店網の見直し

東アフリカ地域

販売強化のため、
ケニア支店を開設

収益改善策

自社製品の売上拡大

- ・生体情報モニタ、ITソリューションを中心とする新商品の投入
- ・SpO₂/CO₂センサ、iNIBPのパラメータ商品の販促に注力

組織的な生産性の向上

- ・供給リードタイム短縮による在庫の圧縮、短納期対応
- ・国内販売子会社統合による業務効率の改善

経費コントロールの強化

設備投資・人員計画の見直し、各社・各部門での経費管理を徹底

3) 通期の業績見通し

(単位:百万円)

	前期実績 2017/3	当期予想 2018/3	増減率 (%)
売上高	166,285	175,000	5.2
国内売上高	124,764	128,000	2.6
海外売上高	41,520	47,000	13.2
営業利益	13,585	15,000	10.4
経常利益	14,053	15,000	6.7
親会社株主に帰属する 当期純利益	9,149	10,200	11.5

為替影響除く: +14%

【地域別海外売上高】

	前期実績 2017/3	当期予想 2018/3	増減率 (%)
米州	18,953	22,500	18.7
欧州	6,988	7,500	7.3
アジア州	12,639	14,400	13.9
その他	2,938	2,600	△ 11.5
海外計	41,520	47,000	13.2

海外売上高比率 25.0% 26.9%

平均レート		(期初の想定)	
1ドル	109.2円	110円	
1ユーロ	119.3円	115円	

(下期)

110円
115円

[参考]商品群別売上高見通し

(単位:百万円)

	前期実績 2017/3	当期予想		増減率(%)
		期初	11月6日修正	
生 体 計 測 機 器	37,658	39,800	39,500	4.9
生 体 情 報 モ ニ タ	56,117	59,100	61,400	9.4
治 療 機 器	29,728	31,200	31,200	5.0
そ の 他	42,781	44,900	42,900	0.3
売 上 高 合 計	166,285	175,000	175,000	5.2
(ご参考)				
消 耗 品 ・ 保 守 サ ー ビ ス	71,180	75,100	75,700	6.4

3

当社の経営戦略

TRANSFORM 2020 の基本方針

高収益体質への変革

コア
技術

Human Machine Interface

センサ技術、信号処理技術、データ解析技術



3つの顧客価値の創造・提供

革新的技術
Innovation



品質
Quality



臨床的価値
Clinical Value



TRANSFORM 2020 の基本方針

1

高い顧客価値の創造

当社の
強み

センサ技術、データ解析
技術などの独自技術

顧客価値の高い
自社製品の
開発・販売



・競争優位性の高い
センサ等消耗品



・医療の効率化、患者安全
に貢献するサービス

消耗品・保守サービス
売上高比率目標45%

専門性の高い
グローバル
販売・サービス
体制の構築

TRANSFORM 2020 の基本方針

2

組織的な生産性の向上

富岡生産センタ

- 生産改革を推進



- グループ最適なグローバル・サプライチェーンの構築

- 生産性の向上
- 世界各国へのタイムリーな製品供給

総合技術開発センタ

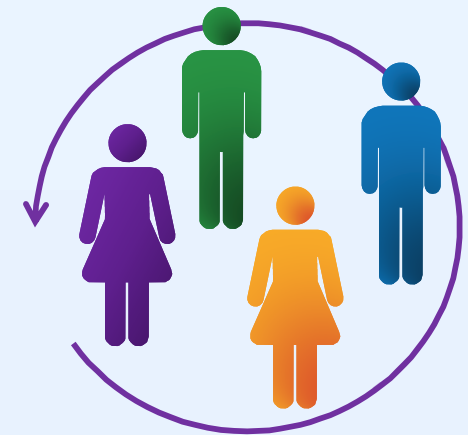
- 充実した研究開発・試験環境の活用
- プロセス管理、品質管理、生産技術による支援体制の強化



開発効率の向上

グループ全体

業務プロセス改革とIT利用の推進



社員一人ひとりの生産性の向上

6つの重要課題

地域別事業
展開の強化

コア事業の
さらなる成長

新規事業の
創造

技術開発力の強化

世界トップクオリティの追求

企業体質の強化

地域別事業展開の強化

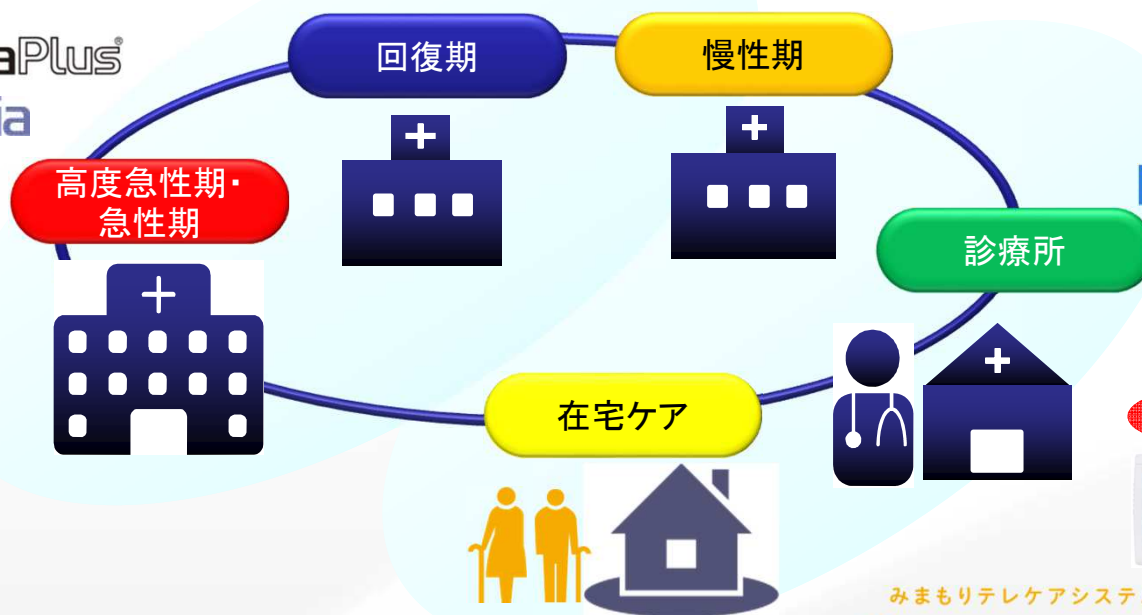
日本

高齢社会の医療ニーズに応える新たな成長基盤の構築

- ✓ 病院経営の改善に貢献するソリューションの提供

- ✓ 地域医療連携に対応した商品ポートフォリオの拡充

PrimeVitaPlus[®]
PrimeGaia



NEW!
PrimePartner クリニカルアシスタント
サービス (2017年10月発売)

NEW!
LAVITA[®] 医療介護ネットワーク
システム (2017年8月発売)

NEW!
ホルター心電計
(2017年10月発売)

みまもりテレケアシステム
SUKOYAKA[®] ひとり暮らし高齢者向け
健康みまもりサービス

- ✓ 販売・サービス体制の強化・再編

病院営業

GP※営業

※GP: General Practitioner
総合診療医

販売子会社制 ▶ 支社・支店制への移行

アメリカ

世界最大・最先端のアメリカでの事業基盤の強化

- ✓ 医療の質と効率の向上に貢献するソリューションの提供
- ✓ 現地開発体制の強化

NKUSラボ



生体情報モニタ

生体情報モニタ
市場シェア目標12%



脳神経系群

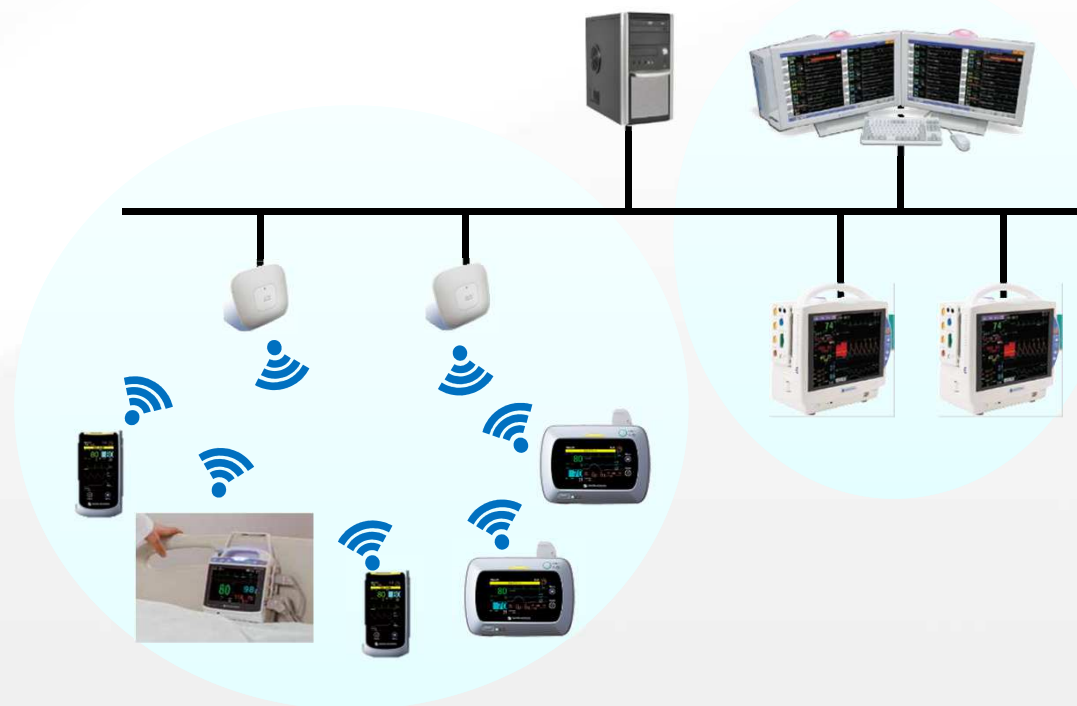


救命救急分野



- ✓ 新市場への進出
- ・商品群の拡充
- ・戦略的M&A

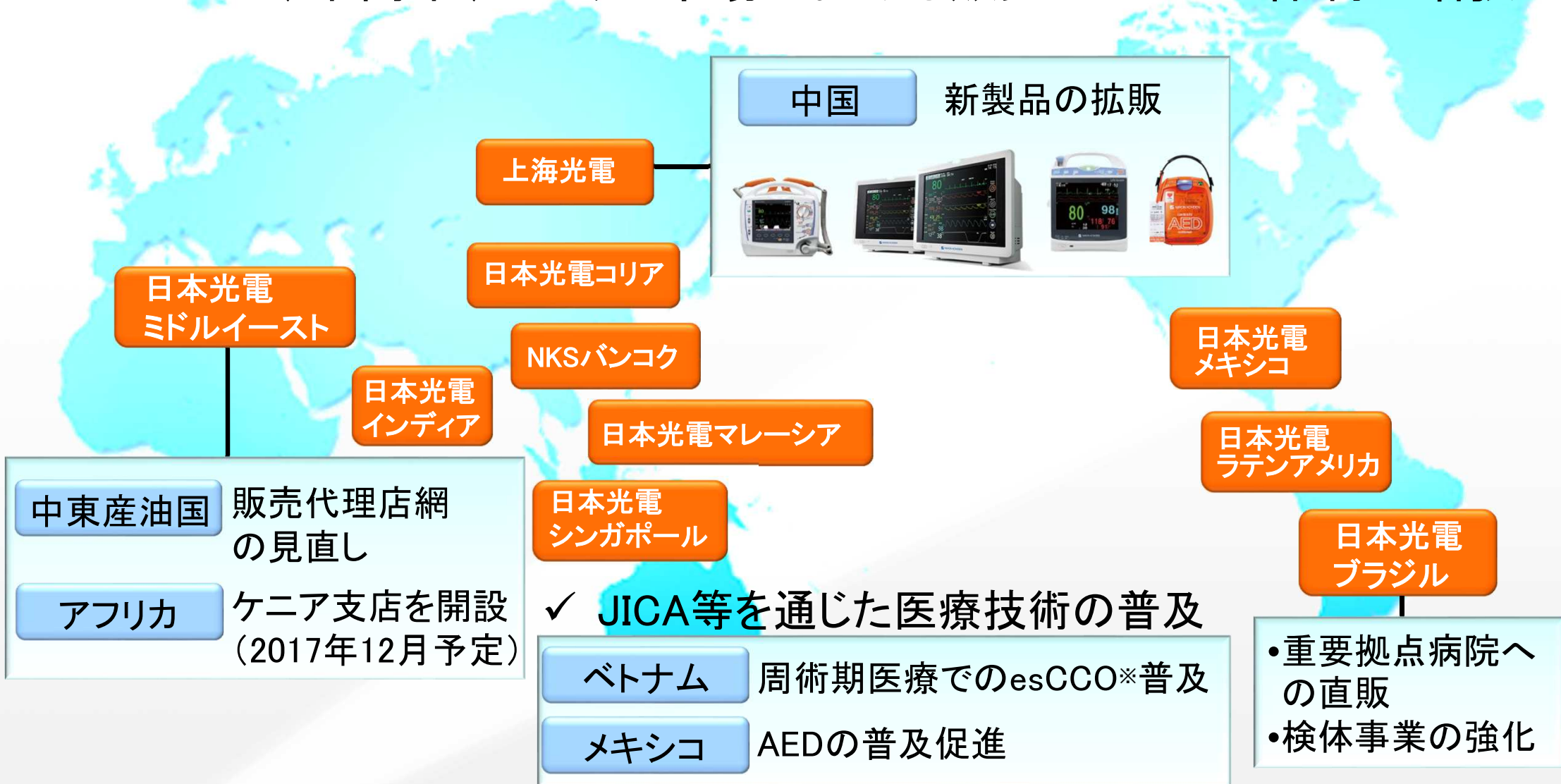
- ✓ ワイヤレス技術を活用した大規模ネットワークシステムへの対応



新興国

新興国市場の医療ニーズに応える戦略的事業展開

✓ アジア、中南米、アフリカ市場における販売・サービス体制の増強



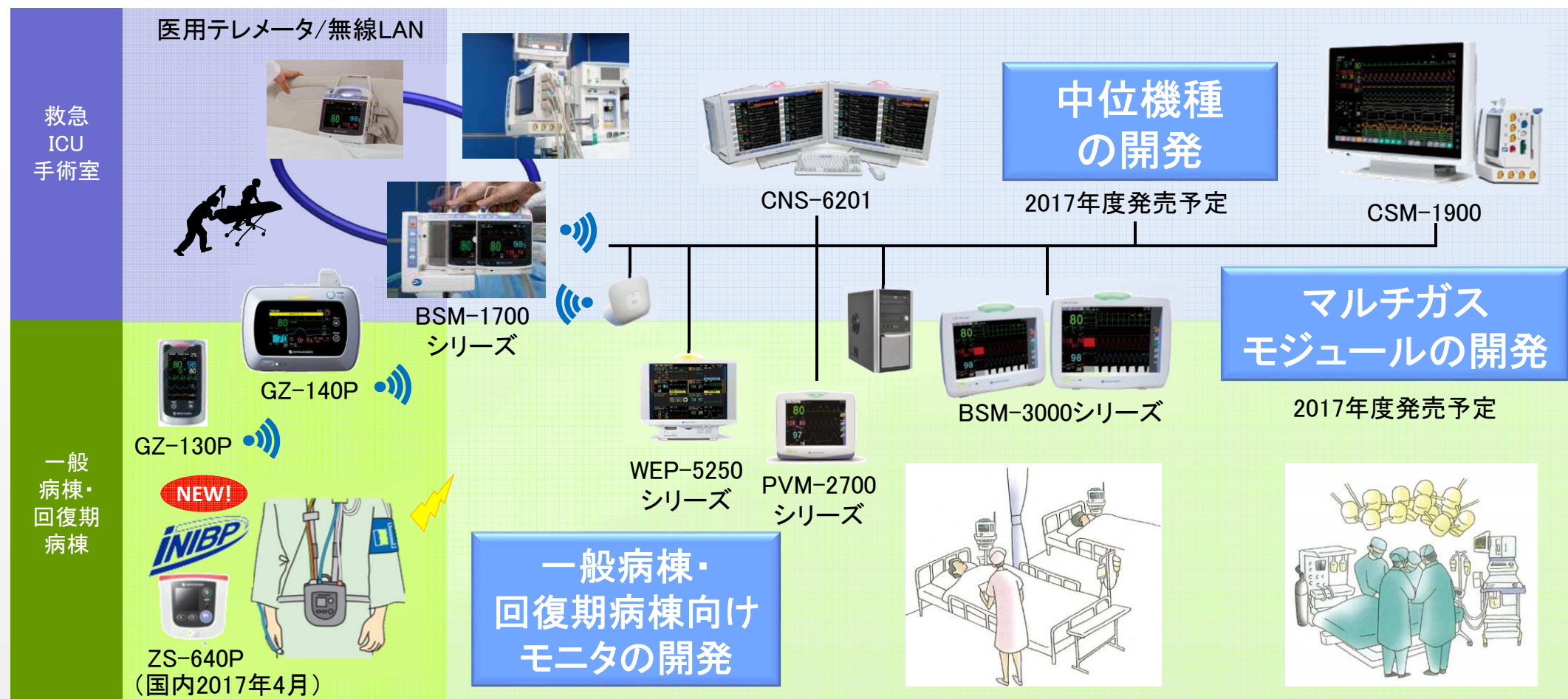
※esCCO: 心電図とSpO₂から非侵襲で連続的に心拍出量を算出する当社独自技術。

コア事業のさらなる成長



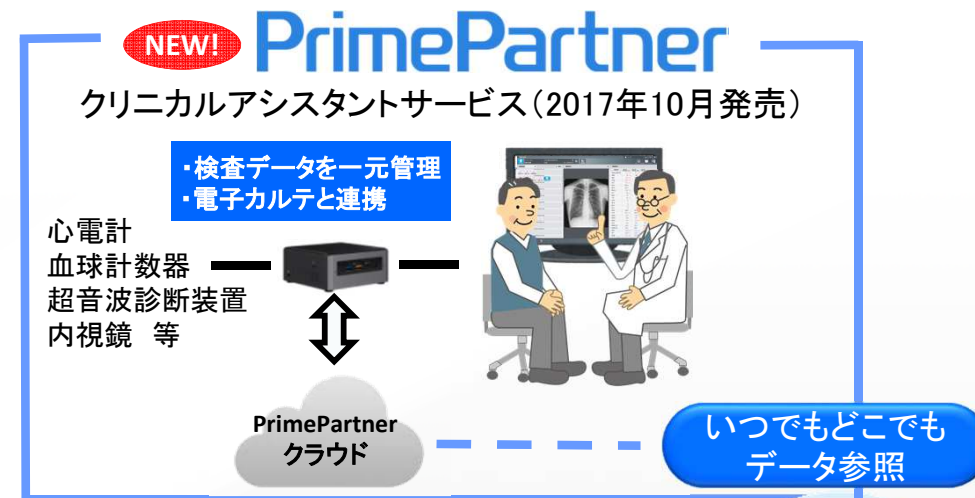
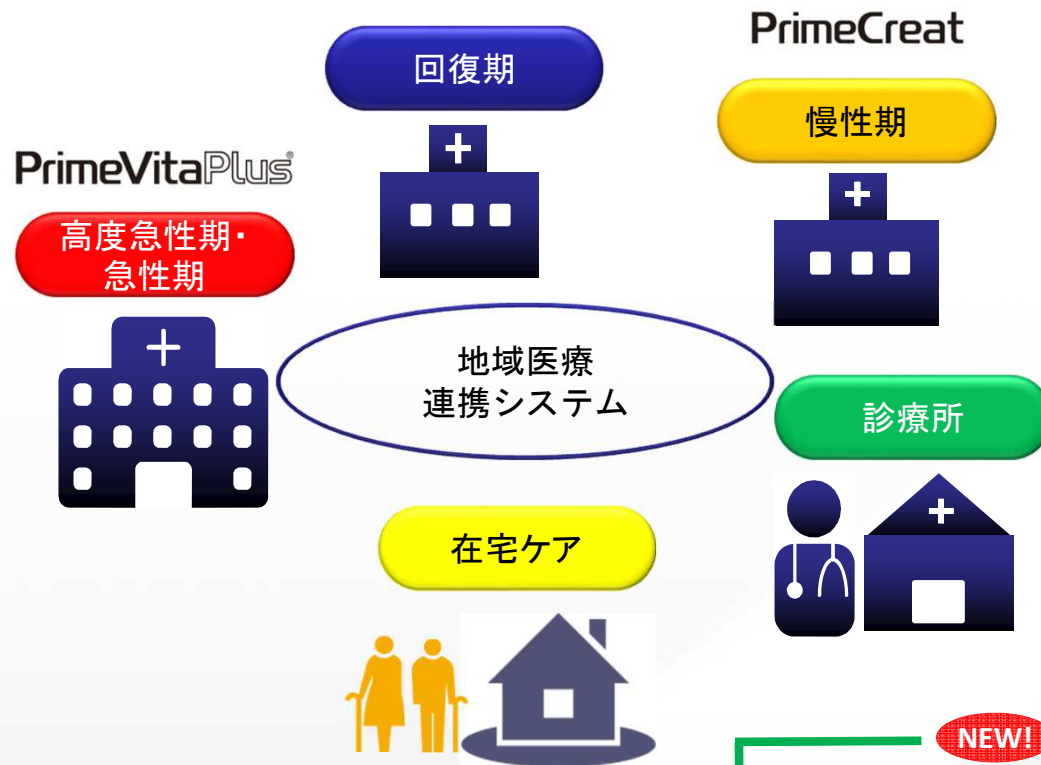
✓ 医療の質と効率、患者安全の向上に貢献するモニタリングソリューションの提供

製品ラインアップの拡充・ネットワーク対応



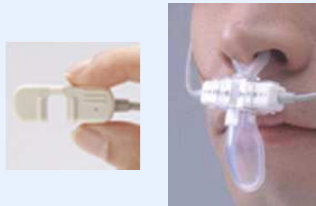
- ✓ クラウド技術を活用し、地域医療連携の基盤となる
システム商品を拡充

日本光電初の「**クラウド**サーバを活用した」
「**月額利用料制**」のITソリューション



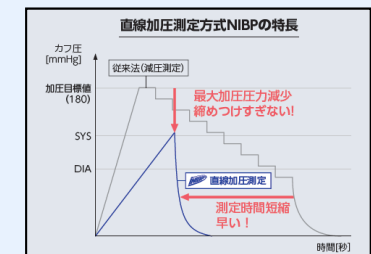
モバイル端末でデータ
参照可能。LAVITAと
PrimePartnerの組み
合わせも可能。

✓ 独自センサ技術のグローバル市場への普及を促進

CO₂アダプタの拡充メインストリーム式
CO₂センサCO₂測定用
酸素マスク上部内視鏡時
CO₂モニタリング用
バイトブロック

NEW!

OEM事業の推進

トイッツ(株)とNIBPモジュールの
OEM供給契約締結

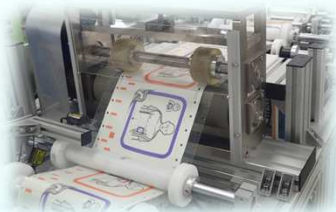
✓ 消耗品の生産拡大、コストダウン

【実現目標】 2017年度

2018年度

2019年度～

AED用使い捨てパッド

富岡第二工場
での増産、
自動化SpO₂センサ富岡第二工場での
自動化生産とコストダウン

NIBPカフ



生産の自動化

経営目標値(2020年3月期)

売上高	1,900億円	地域別海外売上高	
国内売上高	1,350億円		
海外売上高	550億円		
営業利益 (営業利益率)	200億円 (10.5%)		
親会社株主に帰属する 当期純利益	137億円	米州	273億円
ROE	12.0%	欧州	82億円
		アジア州	165億円
		その他	30億円

想定レート: 1USD=110円、1EUR=115円

利益配分の基本方針

成長投資

将来の企業成長に必要な投資を継続

研究開発

設備投資

M&A、提携

人財育成

株主還元

- ✓ 長期にわたって安定的な配当を継続
- ✓ 連結配当性向30%以上を目標
- ✓ 配当を重視し、自己株式の取得は機動的に検討

(円)【一株当たり配当金・連結配当性向の推移】



注) 2015年4月1日を効力発生日として株式1株につき2株の株式分割を実施
2015年3月期までの数値は、株式分割前の実際の配当金の額を記載

この資料に記載されている業績予想数値は、当社および当社グループ会社の事業に関連する業界の動向、国内外の経済情勢、各種通貨間の為替レートの変動など、業績に影響を与える要因についての現時点で入手可能な情報を基にした見通しを前提としております。同数値は、市況、競争状況、新商品導入の成否など多くの不確実な要因の影響を受けます。

従って、実際の業績は、この資料に記載されている予想とは大きく異なる場合がありますことをご承知おきください。

【担当部署】経営戦略部

【連絡先】TEL03-5996-8003